

慶應義塾大学学術情報リポジトリ  
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	投稿規定
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2007
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 英語英米文学 No.51 (2007. )
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030060-20071215-0113">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030060-20071215-0113</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 投 稿 規 定

平成 16 年 6 月 21 日改定

1. 投稿資格は原則として英語専任者とする。
2. 投稿論文は専攻する分野であれば英語英米文学のものに限らない。
3. 投稿論文は未発表のものであること。ただし既に口頭で発表し、その旨明記している場合は、この限りでない。
4. 投稿論文は冊子体に印刷して公開するとともに、ウェブ上でも検索・閲覧（印刷可、複写保存不可）で公開する。
5. 投稿論文の長さは、和文の場合は、横書で A4 判 400 字詰原稿用紙を使い 20～50 枚（8000～20000 字）程度、英文の場合は、タイプ（ダブル・スペース）で、A 4 判用紙に 1 枚 65 ストローク×25 行をめやすとして 15～40 枚（4000～11000 語）程度とする。ワープロを使用する場合は、A4 判用紙に 1 枚 40 字×36 行とし、和文・英文ともそれぞれ上記の字数・語数の制限に従い、原稿にはフロッピー・ディスク等を添えて提出する。

### 6. 書式上の注意

イ. 注は原稿の末尾にまとめてつける。

ロ. 引用文は原則として和訳をつけない。

ハ. 外国の人名・地名・書名等はすくなくとも初出の個所で原名を書く。

ニ. 引用文献書式の例

(書誌の場合) Brewer, Derek, *Tradition and Innovation in Chaucer*, London: Macmillan, 1982.

(注の場合) Derek Brewer, *Tradition and Innovation in Chaucer*, (London: Macmillan, 1982), p. 89.

J. M. Manly, *Some New Light on Chaucer* (1626; rpt. New York Peter Smith, 1951), p. 169.

I. Lehiste, ed., *Readings in Acoustic Phonetics* (Cambridge; The M. I. T. Press, 1967), pp. 34-7

Leigh Lisker "Closure Duration and the Intervocalic Voiced-voiceless Distinction in English." *Language*, XXXIII, 1 (1957), 42-9.

ホ. その他の細部については *The MLA Handbook for Writers of Research Papers, Fifth Edition* (邦訳『MLA 英語論文の手引第 5 版』北星堂発行) に従う。

7. 原稿が日本語の場合、原則として英文のシノプシス（300 語程度）を添える。また、原稿が英文の場合、日本語のタイトルを添える。
8. 校正は再校まで執筆者が行うこととする。